



↑ 議会ホームページ  
はコチラ

市議会だより No.92

# ようこそ 議会へ

# 迎春

## 議長・副議長就任あいさつ

明けましておめでとうございます。心から新年のお慶びを申し上げます。

このたび私たちは、昨年10月の臨時会におきまして、議員各位の推挙をいただき、栄誉ある第45代議長、第49代副議長に就任いたしました。歴史と伝統ある羽咋市議会の代表に就任させていただきますことは、誠に光栄であるとともに、職責の重大さを感じ身の引き締まる思いでございます。

現在、市政におきましては、新型コロナウイルス感染防止対策や経済対策を始めとする多くの課題が山積していることから、執行部をはじめ、職員の皆様と共に解決に努め、元気で持続可能な“輝くはくい”を、創っていく必要があると考えます。

市議会といたしましても、このような困難な状況の中において私たち議会が果たす役割は非常に重要なことであると考えており、市政発展のために、様々な課題に対して迅速かつ的確な施策を早急に実現できるよう、力を尽くしてまいる所存でございます。

市民の皆様には、引き続き市議会に対し、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして幸多き一年になりますことを、心からお祈り申し上げます。就任と新年のごあいさつとさせていただきます。



浜名 等 議長



松永 幸則 副議長

## 感謝状受賞おめでとうございます

羽咋市議会議員山本泰夫氏は、35年以上の永きにわたり市議会議員として地方自治の振興発展に寄与され、住民福祉の向上に尽くされた功績が認められ、令和3年10月5日に、総務大臣から感謝状が授与されました。

おめでとうございます。

### 受賞議員の紹介

- ・感謝状（35年以上在職議員）



山本 泰夫 議員



## 第6回羽咋市議会定例会質疑・一般質問一覧 発言順序と質問項目

開議日：令和3年12月7日(火)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	櫻井 英一	(1) (仮称)羽咋駅周辺賑わい交流拠点整備について (2) 千里浜インターチェンジ周辺の土地利用について (3) 移住・定住の促進策について (4) 羽咋市市民活動支援センターの指定管理者の指定について (5) 富永地区から提出されている要望事項について	一問一答
2	川口 雅登	(1) 不登校の現状と対策について (2) 余喜小学校運動場周囲の野球ネットについて (3) きれいな水と安全な米について (4) 邑知瀧のヨシ原の保全について	一括質問
3	備後 克則	(1) 羽咋駅周辺賑わい交流拠点への集客について (2) 地域コミュニティ活動への公的フォローアップについて (3) 地域公共交通であるA I タクシーの実証実験とエリア拡大について (4) これまでのコロナウイルス感染症対策の経験をいかした今後の感染・支援対策について (5) 農村地域防災減災事業である神子原ダムの対策工事について	一問一答
4	丸田 一幹	(1) 子育て、教育について (2) まちづくりについて (3) 空き家対策について (4) 動物愛護について	一括質問
5	新田 義昭	(1) J Aはくいの要望について (2) 学校給食について	一括質問
6	本吉 典子	(1) 教育行政について (2) 一元化した産前・産後ケア事業について (3) 動物愛護への理解について (4) 持続可能なまちづくりについて	一問一答

開議日：令和3年12月8日(水)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
7	山本 泰夫	(1) 歩行者道路交通の安全対策について (2) 再生可能エネルギーについて	一括質問
8	酒井 一人	(1) 粟ノ保保育所の閉所と放課後児童クラブの新設について (2) A I 乗合タクシーの実証実験および地域公共交通計画の策定について (3) 除雪対策について	一問一答
9	岡本 佐市	(1) 新型コロナウイルス対策について (2) 獣害対策について (3) 太陽光発電について (4) 羽咋駅周辺整備事業について (5) 国道415号の第三期(県境まで)の工事延伸について (6) 大雨により破損した飯山川にかかる護岸橋脚改修工事について	一問一答
10	松田 義人	(1) 羽咋市民である価値について (2) プロジェクトチームについて (3) マイナンバーカードの取得促進について (4) 羽咋市公共施設個別施設計画に基づく対応について	一問一答
11	浅野 俊二	(1) 羽咋駅周辺の活性化とJ R問題について (2) 島出町の太陽光発電所設置問題について (3) 柴垣地区の問題について (4) 妙成寺の景観とR D F 専焼炉の公害問題について	一括質問
12	松永 幸則	(1) 社会的弱者に対する支援およびケアについて (2) SDGsおよび脱炭素の観点からの自然栽培の普及支援について (3) 先進的教育および起業支援の観点からのデジタル専門部署の創設について	一問一答



櫻井 英一 議員

## 安全対策の地区要望は迅速に対応を



横断歩道設置の要望がある吉崎新町交差点

### 羽咋駅周辺賑わい交流拠点整備

**【質問】** 本事業費はいくらと見込んでいるか。また、指定管理料は、維持管理・運営費から収入想定額を差し引いた額とあるが、この収入想定額をいくらと見込んでいるか。

**【答弁】** 交流拠点整備で解体費3億円、造成工事費1億5,000万円、賑わい交流拠点施設の建設費13億円、屋内公園設備費8,000万円、設計・工事監理費1億1,400万円、維持管理・運営費は年間9,500万円で、交流拠点の整備費は合計で20億3,900万円。道路事業は、補償費・用地取得費を含め市道羽咋101号線は4億円、都市計画道路川原町線は4億円を見込んでいる。また、収入想定額は約600万円である。

### 富永地区吉崎町の要望事項

**【質問】** ①堆積土砂によって堤防を越水、人家等の浸水被害が発生する恐れがあるため、平成29年に「二級河川吉崎川の堆積土砂撤去」を要望。②吉崎町地内の児童が、横断歩道のない市道を横断せざるを得ない非常に危険な状態であることから、横断歩道の設置や歩車道境界ブロックの設置を要望。その後の対応を聞く。

**【答弁】** ①令和4年の梅雨時までに吉崎新橋付近で堆積土砂の撤去を予定している。今後も土砂の堆積状況により、引き続き堆積土砂の撤去を県に要望していく。②県道の安全施設および横断歩道の設置は、県と公安委員会が令和4年度に工事を行うと聞いている。また、市道の安全対策も地元町会や関係機関と協議しながら県道の安全施設の設置に合わせて対策を行う。



川口 雅登 議員

## 安心・安全な教育環境と野鳥に大切なヨシ原



ヨシ原でくつろぐハクチョウ

### 余喜小学校運動場周囲の野球ネットの撤去を

**【質問】** 余喜小学校運動場周囲の野球ネットの支柱が傾いたり、根元が傷んでいるので撤去が必要と思うが安全対策は。

**【答弁】** 余喜小学校の運動場周辺の野球ネットの支柱およびネットの現状を認識している。腐食により傾いた危険性の高い支柱は既に撤去した。残る支柱やネットも今年度中に撤去を予定している。

### 邑知潟のヨシ原の保全を

**【質問】** 私は27才の時から邑知潟でハクチョウや野鳥の観察をしている。今では1000羽のハクチョウが越冬し、西日本の中で最大級の越冬地である。またヨシ原には絶滅危惧種のチュウヒが毎年繁殖している。野鳥に大切なヨシ原の保全対策を。

**【答弁】** 邑知潟周辺は、鳥獣の保護繁殖を図るため県指定鳥獣保護区に指定されており、ハクチョウなどの多数の渡り鳥の飛来地となり、適切な保全対策が必要である。

長曾川の河川管理者は石川県でヨシ原の保全を考えた河川管理はしていないが、新たに堆積土砂除去等の工事には、県自然環境課と協議し実施している。

今後も適切に自然環境が守られるよう関係機関と協力していく。



備後 克則 議員

## 指定管理料9,500万円は 市民負担が過大



無人化とダイヤの減便、閉店が進む羽咋駅前

### 交流拠点施設と駅前エリアの振興はセット

**【質問】** 基本計画（令和2年3月）では、全体整備費は約21億円だったが30億円を超えるとのこと。今後の拡大を危惧する。一方で賑わい交流拠点施設に毎年かかる指定管理料は約9,500万円。これにかかる特定財源はなく、毎年市民の税金（一般財源）から支払うことになると思うがどうか。また、駅の無人化（午後4時～）やダイヤ減便、店舗の閉店の影響を心配する。本事業は駅前一体で人流を呼び、交流拠点施設を核に魅力あるゾーンとして一体整備することが目的でないのか。併せて交流拠点施設が将来の市民の負担にならないが方策を聞く。

**【答弁】** 毎年の管理料は、およそ9,500万円で財源は一般財源（市税等）となる。この事業は、公共施設（交流拠点施設）が集客し、周辺を含めた

商業施設が消費を促す役割分担が前提。将来については、時代の変化に敏感に対応していく。

### 町会助成金の増とAIタクシーのエリア拡大を

**【質問】** 人口減少で苦しむ町会活動（町会費の減、成り手不足等）への支援のため、町会補助金の底上げ、増額を。また地域間格差を生まないため、遠隔地に住む人達へのAIタクシーのエリア拡大（現在羽咋、千里浜、富永、粟ノ保の4地区で実施）は。

**【答弁】** 町会活動の人的・財政支援を拡充していく。自由に使えるお金として検討する。AIタクシーは実証実験結果を分析し、地域交通協議会の意見を聞き、元に戻すのか、拡大するのかの方向性を出す。



丸田 一幹 議員

## 安心安全なまちづくりで 羽咋の未来を守る



信号待ちをする子供たち

### 通学路の安全確保

**【質問】** 羽咋小学校の正門前の押しボタン式信号に毎日多くの子供たちが信号待ちをしている。

待ち時間の間、リスクにさらされている時間が長い。ガードレールなどの保護対策は考えられないか。

また、冬期のスリップ、通行の安全確保のために融雪装置を検討願う。

**【答弁】** 羽咋小学校正門前の安全対策には、通学路交通安全プログラムで、学校や警察等と協議しながら、歩行者の安全確保のためガードレール等の安全施設の整備を検討している。

なお、羽咋小学校前の南通り線は、除雪第1種路線として最優先に除雪すべき重要路線であり、融雪装置の設置は、千里浜町の冠水対策のための側溝整備完了後、財政状況を考慮し検討する。

### 千里浜新規宅地造成と千里浜町内の排水

**【質問】** 千里浜インターチェンジ周辺の新規宅地造成による雨水排水対策について、千里浜市街地への流入は、既に飽和状態にある市街地内排水に拍車をかける。若部千里浜インター線への排水を検討できないか。

併せて、千里浜市街地の既存排水の見直しを。

**【答弁】** 雨水の排水先は、地区排水計画に基づき計画する。宅地造成部分は、調整池を設置することで、千里浜町地内の排水路へまとまった雨水が流れ出ないように排水する予定である。

千里浜町地内の既存排水路は順次、改良し、冠水対策を行っており、有効な排水対策を実施し、今後の開発に備え、新たな調整池整備も検討する。



新田 義昭 議員

## 学校給食に安心・安全な 自然栽培米を増やす



学校給食

### JAはくいの要望と学校給食を問う

**【質問】** 学校給食で年6回自然栽培米を提供している。地元の学校給食に全量自然栽培米が使われているとなれば大変ビッグニュースになる。未来ある子供たちに安心・安全な食材を食べさせる。聖地化実現に向けた大きなキーワードになる。給食の米は、1kg680円で高価である。JAはくいは、今後3ヶ年計画で、団地化やふるさと納税の返礼品として人気の高い自然栽培米の面積の増加と価格の応援をしていく方向。平成27年と28年に、はくい市とJAはくいは、農業振興に関する協定書を実行している。いまだに多くの課題を抱えている。3回目の会合を行い、未来に希望が持てる農業と学校給食に自然栽培米の使用を求める。

**【答弁】** 学校給食での自然栽培米の使用などにより、自然栽培米の認知度は年々高まっている中、地元での理解が得られてこそ持続可能な取り組みにつながると考えている。本市の農業を含めた能登の里山里海が世界農業遺産に認定され、今年で10周年を迎え、環境に配慮した農業に取り組み、安定した生産体制を構築することが聖地化につながると考えている。自然栽培に関連した移住者は15人いる。学校や保育園での自然栽培米の使用は、令和2年度は6回、今年度は3回実施している。年間39tの確保と3,120万円程度の費用がかかるため、回数の増加などについて検討する。

市とJAとの情報の共有化が必要。諸問題についての情報の共有化をするため会合は必要と考えている。



本吉 典子 議員

## 女性目線・生活者目線の 井戸端会議情報



手を合わせる

### コロナ禍と急激なICT環境の中の子ども達

**【質問】** ①環境の変化で、問題行動等が心配だ。不登校の状況とその対応を聞く。②教育方針の周知ときめ細かい親への対応として市の教育行政と保護者に意思疎通の場の設置を望む。③レジリエンス力・心の強靭さを育む取り組みに平教育振興基金を活用してはどうか。事業スケジュールを聞く。

**【答弁】** ①市内中学校、小学校の不登校数、ストレスを感じている子が増加している。様子の観察と心のケアが大事。②教育の方向性は各校が情報提供する。PTA等が情報交換の場である。各校のPTA会長や母親代表が集まる場で教育長・教育委員が意思疎通を現在とっている。③不安の予防教育には、レジリエンス能力が必要。令和4年4月には毎週夜間、東京オンライン学習塾等の予

定がある。詳しくは、学校報や広報、報道で確認をお願いする。

### 動物にも優しいまちづくり

**【質問】** ①コロナ禍で、ペット需要が急増している。愛犬・愛猫を最後まで世話できない現状、漁師による愛護活動、県が動物愛護管理担当者を市町に育成する動きを受けて羽咋市の現状を聞く。②地域の問題として受けとめてはどうか。

**【答弁】** ①野良猫について苦情・相談は受けるが避妊手術等が必要な頭数把握はしていない。②羽咋市の担当窓口は、環境安全課である。避妊、去勢手術の制度については県内自治体の状況をみて検討する。頭数の把握もあわせて検討する。



山本 泰夫 議員

## 歩行者、道路交通の安全対策



兵庫町交差点

### 都市計画道路、千里浜インター線の四車線化

【質問】 県道若部千里浜インター線沿道の土地活用の可能性調査結果が公表された。

サウンディング型市場調査を実施しながら事業形態を検討するとのこと。今後は都市計画法に基づき開発行為が行われると考えられる。千里浜インター、兵庫町交差点の区間は、朝晩の渋滞が著しい道路である。この区間の四車線化が進められないか。開発行為を行う場合には調整池が必要となる。道路の冠水対策、排水対策は。

【答弁】 千里浜インター周辺の開発に加え国道159号羽咋道路、国道415号の整備による交通動態の変化を見極めながら、石川県に対し四車線化を要望する。

冠水対策は県道の側溝改修が実施されている。排水対策は調整池に雨水を溜め、都市計画下水路の氾濫を防ぎ一気に流れ出ないように排水として

いる。

### 再生エネルギー問題

【質問】 平成24年7月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始されたのを契機に、太陽光発電等の普及が進んでいる。地域によっては、土砂流出、濁水の発生、景観への影響、動植物の生息環境の悪化、住民とのトラブル等の問題が生じている。その為太陽光発電等、設備の適正な設置と自然環境との調和を図るため、設置を規制する条例が出来ないのか。

【答弁】 設置を抑制する区域を設けた届出制。禁止区域を設けた許可制としている自治体がある。これらの自治体の状況を参考にしながら、条例の制定を検討する。



酒井 一人 議員

## 市民と共に創るには課題を早期に示すこと



今年3月で閉所となる粟ノ保保育所(虹)

### 粟ノ保保育所の閉所と放課後児童クラブ開所

【質問】 ①粟ノ保保育所の閉所計画は、せめて1年間の時間をかけて、住民の理解や議会での議論が必要な事案であると考えが。②保育所閉所と放課後児童クラブ開所の具体的スケジュールは。

【答弁】 ①短期で閉所の方向性を示したことについて、保護者や地元にご迷惑かけ申し訳なく思っている。経緯について、コロナによる児童クラブ待機児童の解消と密の回避で、大局的観点から速やかに実施することを判断した。②他の保育所との交流会を実施しスムーズに入園できるよう配慮する。1月中にトイレの改修工事を開始するが、子供たちを保育しながらの安全を配慮し進める。12月中に小学校の児童と保護者に対して周知する。

### 将来の除雪体制をどのように考えているのか

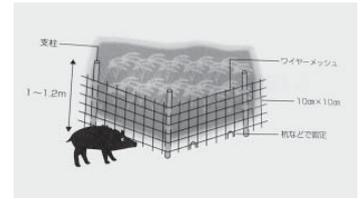
【質問】 人口減少・高齢化社会を見据え、将来の除雪体制の確保について、民間除雪協力事業者の確保と人材そして町会の除雪体制確保が重要課題である。生活道路の安全・安心確保をテーマとして、早急にその課題を分析し、方針を検討する必要があると考えるが。

【答弁】 除雪体制の確保は、自助・共助・官民連携による自立的で安全な地域の実現のための将来構想を、地域ぐるみで設定する必要がある。また、若者や移住者も取り込んだ人材確保などの検討も必要である。この問題も官民連携で業者のみならずと知恵を絞り、こういった対応が実現できるのか検討していく必要があると考えている。



岡本 佐市 議員

## 獣害対策において恒久的な金網柵の設置を



「防護柵」

### 高齢化により電気柵の維持管理ができない

**【質問】** 農業従事者の高齢化により、特に中山間地において、農地管理に手が回らないことから結果的に耕作放棄地となる農地が増えている。

神子原地区において、イノシシ対策により張り巡らした電気柵が相当の距離になっている。漏電防止から周囲の除草が欠かせず、急傾斜地等でのこの作業が大変な負担となっている。同様な悩みを抱える加賀市の山間部では、恒久的な金網柵の設置で対応していると聞く。羽咋市も対策を講じることはできないか。

**【答弁】** 電気柵の設置については、効果的な運用には定期的な除草作業が欠かせない、また維持管理が負担になっているということは聞いている。

恒久的な金網柵の設置につきましては、昨年市内で試験的に設置した場所があり、獣害対策にお

いて一定の効果が出ている。

今後は、恒久的な金網柵の設置についても、中山間地域を中心に対応を今後検討していきたい。

### 市街地における太陽光発電の規制が必要

**【質問】** 住宅地では、景観や防災、住環境を考慮する仕組みや地元町会や周辺住民との調整ルールが重要であり、何らかの規制が必要である。

市は、住民とのトラブルを未然に防ぐ条例制定を模索していると聞かすが、条例制定を考えているのか。

**【答弁】** 他自治体の状況であったり、そういったつくっている条例を参考にしながら、いろいろとまた検討していきたいと思っている。



松田 義人 議員

## 羽咋市民である価値を高める施策を



解体予定の市役所食堂棟

### 市民が誇りに思える優位性や独自性とは

**【質問】** 羽咋市民であるというプライドを持って生きることができることこそ究極のまちづくりであると考えている。他の自治体にはない羽咋市民が誇りに思える優位性や独自性、つまり羽咋市民である価値とはどのようなことであると考え、具体的な施策として、どのように取り組むのか。

**【答弁】** 千里浜なぎさドライブウェイをはじめとする恵まれた自然や、食、歴史と文化などの財産を持ち、教育レベルも高く、誇りに思えるさまざまな優位性や独自性を有している。

一方、価値観とは市民一人ひとりが異なるものだと考えており、それぞれの価値観を認識し、その声を市政に取り入れることが大切。行政が市民と同じ目線に立つ姿勢が必要不可欠と考える。

### 公共施設等総合管理計画の進ちょく

**【質問】** 羽咋市公共施設等総合管理計画では、特に公共建築物を、これまでと同様に維持していく前提で更新するためには、今後40年間で501億円、年平均で12.5億円が必要と試算されており、今後の行政経営に大きな影響を及ぼすものと懸念している。令和4年(2022年)度には、どのような方針となっているのか。

**【答弁】** 廃止に向け準備を進めているのは、市役所食堂棟だけであり、新年度予算に解体費および解体後の整備費を計上していく予定である。公共施設の廃止については、その施設機能を代替する施設や跡地活用など、地域と協議しながら計画的に進めていきたいと考えている。



浅野 俊二 議員

## めっきり寂しくなった 「羽咋駅前の商店街」



人通りが少なくなった駅前

### 羽咋駅はJR直営に戻せ

【質問】羽咋駅の無人化、七尾線の減便、駅前の商店街をどうするのかと言う視点ではなく、矮小化してマルシェ跡地の交流施設だけを考えているのではないのか。これでは、駅周辺の活性化は出来ないと市民は心配している。①3月から委託され無人化、みどりの窓口等が廃止され、利用者から多くの苦情が寄せられている。なぜ市長は市民の声を聞かないで委託を認めたのか。②なぜ知事に呼ばれなかったのか。羽咋は乗り降り1日、2570人、七尾は2296人で多い。岸市長は、どこにいるのか全く見えない大変残念だ。③東西を分断している踏切を復活せよ。広島県の可部線は地域挙げて運動し復活した。工事費は3,000万円(地元負担1～2割)④駅舎を周辺整備と併せ街の元

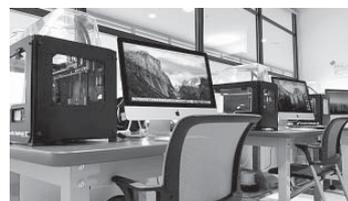
気を取り戻す起爆剤となるよう、賑わい創出の拠点にせよ。加賀市は大聖寺駅を取得、活用する。羽咋市も市民、商店街のアンケート実施を行い活用すべきだ。このままでは閑古鳥が鳴く陸の孤島だ。

【答弁】①令和2年12月3日にサービスを持続的に提供するため、委託する方針と説明が一応あった。直営か委託はJRの経営判断だ。駅周辺活性化と逆行しているとの指摘は、路線存続するための経営改革との説明を受け理解している。②県より、後で知事が首長を指定して説明に行くとの連絡があった。その後、JRから説明に来た。③これまでの答弁のとおり非常に難しい。④交流拠点施設を進めており駅利用も含め活性化する。



松永 幸則 議員

## 喫緊の課題と中長期の 展望に向けた施策を



加賀市の「ものづくりラボ」

### 低所得世帯に灯油購入費の助成を

【質問】灯油価格は13年前に本市が助成した当時の価格を既に超えている。他の自治体では、野々市市、珠洲市、そしてかほく市などでも灯油購入費の助成を進めると聞いているが、ぜひ本市においても低所得世帯に対する灯油購入費の助成を実施していただきたいと考えるが、市長の考えは。

【答弁】国の今の補正予算の中で経済的弱者、貧困の世帯についてもいろいろな施策が講じられている。検討していきたい。

る。そういった子どもたちをさらなる高みに引っ張ってあげるためにも、またそういった子どもたちの受け皿とするためにも、羽咋駅前に建設が予定されている施設にも、是非そういった側面を持たせていただきたいと考えるが、市長の考えは。

【答弁】3Dプリンターを含め、DIY工房やeスポーツによるコミュニティ機能など、多様な学習機能を位置付けている。子どもたちに限らず全ての世代を対象にデジタル能力を含めた様々な能力向上につながる機会を確保するため、必要なデジタル設備や環境を整備していきたい。

### 駅前の施設に高度なデジタル環境の整備を

【質問】市内の小中学校においてデジタル教育に積極的に取り組んでいるが、これから突出した能力や尖った才能を持つ子どもたちが必ず現れてく

## 予算常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○松田 義人 本吉 典子 丸田 一幹  
 備後 克則 岡本 佐市 川口 雅登 酒井 一人  
 松永 幸則 浜名 等 寺井 哲也 新田 義昭  
 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第66号「令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第9号)」など、議案4件。

12月9日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案4件については、全会一致をもって、原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】** ペーパーレス会議システム構築に係るタブレット端末の購入について、購入機種は、Wi-Fiモデルか通信システムを利用できるLTE搭載モデルかどちらを予定しているのか。

**【答弁】** 市庁舎で部課長などが使用する際は庁内のWi-Fiのみで使用可能と考えているが、議員などが使用する場合は、持ち帰ることも想定されるため、LTE搭載モデルを予定しており、今後、議会と相談しながら決めていきたい。

**【質問】** 国の子育て世帯への臨時特別給付金の支給について、今後の見通しについて示してほしい。

**【答弁】** 今回の補正については、5万円の現金給付分であり、残りの5万円相当については、現在、クーポン支給か現金給付かはまだ確定していない。今後、国の状況を見ながら検討していきたい。まずは、年内に現金5万円を該当する子育て世帯に振り込む作業を進めていきたい。

**【質問】** 粟ノ保放課後児童クラブ開所にかかるトイレの改修工事について、児童クラブの定員数とトイレの設置数を教えてほしい。

**【答弁】** 定員は40人。トイレは男児用で小1基、大1基、女児用で大2基を設置する予定としており、園児の安全に配慮しながら、来年3月31日までに工事が終わるようにしたい。

その他として、羽咋市市民活動支援センターの指定管理の業務内容について、妙成寺解説看板等の設置について、街路樹や公園の松枯れ伐採について、羽咋駅周辺整備についての質問、答弁がされた。

## 総務民生常任委員会報告

◎酒井 一人 ○備後 克則 本吉 典子 松田 義人  
 浜名 等 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第69号「羽咋市国民健康保険条例の一部改正について」など、議案2件。

12月10日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。その結果、議案2件は、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 出産一時金42万円は国が定めた上限か、市独自で設定できるのか。また、今年の出生見込みは。

**【答弁】** 42万円は国が定めた金額であり、上限は市独自で設定可能。今年の出生数見込みは80数名。

**【質問】** 都市計画道路川原町線等の整備をする上で、羽咋駅前の八幡神社移転に伴う市有地を、宗教法人に譲渡することは政教分離の観点からどう考えるのか。

**【答弁】** 土地の登記を羽咋市から神社側に移すもので、目的や効果を考慮しても政教分離に反するものでない。むしろ無料貸付の解消を図る意味で、適正な処理である。

その他として、市職員賞与の引き下げ時期、延長保育事業、移住支援、新型コロナウイルスワクチン接種、学童保育、産前産後支援、指定管理の業務内容についての、質問、答弁がされた。

## 産業文教常任委員会報告

○川口 雅登 ○岡本 佐市 丸田 一幹 松永 幸則  
寺井 哲也 櫻井 英一 新田 義昭

当委員会に付託された案件は、議案第71号「千里浜観光交流拠点施設の指定管理者の指定について」など議案3件。

12月13日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案3件については、全会一致をもって、原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】羽咋市市民活動支援センターの指定管理者の指定について、管理料年額が200万円の増額となった要因は何か。**

**【答弁】**今までのセンターの管理運営業務以外に福祉分野ほか環境や災害、地域づくりについての支援及び町会や各種市民団体の交流・連携を図るため、これまで以上の専門知識を備えた職員の配置を考慮した人件費増額が主要因である。

**【質問】羽咋市ファミリーランド等指定管理業務の限度額が300万円とのことだが、こどもの城やスロープなどの老朽化における修繕など、来年度からの新しい指定管理に向けての予算を考えているのか。**

**【答弁】**この300万円は、債務負担行為で上限を定めた金額である。来年1年間は、指定管理料とは別に羽咋市独自の予算で樹木の剪定や管理を行なう予定である。大型滑り台等の遊具については、今のところ修繕対応でおこなっている。

その他として、羽咋駅周辺賑わい交流施設事業費及び、工事の時期について、不登校の要因について、小学校制服の選択制についての質問・要望がされた。

## 令和3年 第6回定例会

## 12月議会 議決一覧

議員提出議案1件、決議案1件及び令和3年度羽咋市一般会計補正予算や条例改正案など、市長提出議案9件、追加提出された諮問2件を原案のとおり可決・適任と決した。

## ■全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議員提出議案第8号	JR七尾線の維持・活性化について国の関与を求める意見書の提出について	可決
議員提出決議案第2号	「暴力行為排除のまちはくい宣言」に関する決議	可決
市長提出議案第66号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算（第9号）	可決
市長提出議案第67号	令和3年度羽咋市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
市長提出議案第68号	令和3年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
市長提出議案第69号	羽咋市国民健康保険条例の一部改正について	可決
市長提出議案第70号	財産の処分について	可決
市長提出議案第71号	千里浜観光交流拠点施設の指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第72号	羽咋市市民活動支援センターの指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第73号	羽咋市ファミリーランド等の指定管理者の指定期間の変更について	可決
市長提出議案第74号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算（第10号）	可決
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

## 議会活動報告

## 能登五市議会議員研修会

11月16日に、輪島市のホテルこうしゅうえん「松の間」において、第45回能登五市議会議員研修会が開催され、羽咋市議会議員が受講しました。

本研修は羽咋市を含め珠洲市、輪島市、七尾市、かほく市の能登五市の市議会議員の市政研修として毎年、年1回開催されております。

能登五市議会議長会議長、佐藤喜典七尾市議会議長より開会挨拶、開催市輪島市の梶文秋市長より祝辞を頂きました。

研修の講師は、輪島市健康福祉部子育て健康課発達支援室の羽村龍支援係長より「子どもの自己肯定感を育む地域づくり」と題して輪島市の発達支援室の取り組みを紹介頂きました。発達障害の特徴や境界知能、どのような支援が必要かを丁寧にご説明頂き、支援業務、家庭・教育・福祉の連携体制等を解説頂き、環境によって「弱み」を「強み」に変えられること、子どもを取り残す原因となる障壁をなくしていく地域づくりを学ぶことが出来ました。

本研修を通して能登五市共通の課題を各地区との連携強化により、解決していくこと、それが今後の能登の発展に寄与していくことの大切さを実感する貴重な機会となりました。



## お知らせコーナー

## 「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。議会に対するの感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。  
〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210  
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

## 傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定

例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

## ●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

## ●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

## 編集後記

この度、市議会だより編集委員会の副委員長に選ばれました。委員会では、読んでいただける「市議会だより」の作成に努めたいと思っております。例えば、市民の方々が注目しておられる「羽咋駅周辺賑わい交流拠点」について、市議会だよりを通じて皆さんで考えて、未来に繋いでいけたらと思います。市民の皆さんに、どんどんふるさとに興味を持って、疑問を持って、希望を持って生活していただくために、見える議会活動情報の提供に努めます。

(本吉 典子)

## 市議会だより編集委員会

委員長	酒井 一人
副委員長	本吉 典子
委員	丸田 一幹
	松田 義人
	川口 雅登